

生誕180年記念
富岡鉄斎
—近代への架け橋—展

TOMIOKA TESSAI Retrospective
on the 180th Anniversary of his birth
A Bridge to Modern Paintings in Japan

3月12日^土—5月8日^日

前期：3月12日(土)～4月10日(日)

後期：4月12日(火)～5月8日(日)

鉄斎でげんき。
鉄斎でしあわせ。

開催趣旨

1836（天保 7）年に京都で法衣商を営む商家に生まれ、幼少時より国学、漢学等の学問を広く修める傍ら、19 歳ごろから絵を学び始めた富岡鉄斎は、幕末の動乱期には勤皇学者として国事に奔走し、維新後は神官の公職を経て 1924（大正 13）年に 89 歳で亡くなるまで、文人画家として多くの書画を世に送り出しました。日本全国を踏破して生み出された真景図や、文人の理想郷を描いた仙境図などの山水画、中国や日本の故事、古典に取材した人物画や神仙画、風俗画、花卉・鳥獣画など、その領域は多岐にわたり、奔放な筆致と豊かな色彩で描かれた、壮大なスケールの作品は、同時代のみならず後世においても他に例をみない傑出した存在感を放っています。終生学者を以て任じ、すべての作品に古典や実景を典拠とした贅を添え、文人画家としての理想を追求し続けた鉄斎は、後世の画家達にも大きな影響を与えました。

展覧会では、日本美術史上に大きな足跡を残した富岡鉄斎の画業を約 200 点の作品で紹介するとともに、絵を贅とともに鑑賞し読み解きながら、絵画制作に貫かれている鉄斎の世界観を探ります。展覧会の最後では、鉄斎に影響を受けた近代の画家たちによる作品と、鉄斎をめぐる言説を紹介し、富岡鉄斎の日本近代美術における位置を再考します。



1. 画室の富岡鉄斎 70 歳頃（写真）

開催情報

会期

2016（平成 28）年 3 月 12 日（土）～ 5 月 8 日（日）（50 日間）

前期：3 月 12 日（土）～ 4 月 10 日（日）

後期：4 月 12 日（火）～ 5 月 8 日（日）

※ 前期後期で作品がほぼすべて入れ替わります。

ご注意ください。

休館日：月曜日（ただし 3 月 21 日（月・祝）は開館し、3 月 22 日（火）休館）

開館時間：午前 10 時～午後 6 時（金・土曜日は午後 8 時まで）

入場は閉館の 30 分前まで

会場：兵庫県立美術館 企画展示室

主催：兵庫県立美術館、鉄斎美術館、朝日新聞社

後援：兵庫県、兵庫県教育委員会、神戸市、神戸市教育委員会

協力：清荒神清澄寺

協賛：GREG C.K. LIU FOUNDATION /

TKG Foundation for Arts & Culture

特別協力：公益財団法人日本教育公務員弘済会兵庫支部

※ 平成 27 年度 文化庁 文化芸術による地域活性化・国際発信推進事業

観覧料

一般 1,300(1,100)円、大学生 900(700)円、

高校生・65 歳以上 650(550)円、中学生以下無料

※（ ）内は、前売料金及び 20 名以上の団体割引料金。

※ 前売券は一般、大学生のみ、2016 年 1 月 11 日（月・祝）から 3 月 11 日（金）まで販売します。

※ 主なチケット販売場所：JTB 各支店・総合提携店、ローソン、ファミリーマート、セブンイレブン、サンクスほか京阪神のプレイガイド。

※ コンビニ商品番号：前売券 0242177 / 当日券 0242178

※ 前期ご観覧の半券（招待券除く）の提示により後期は団体割引料金でご観覧いただけます。

※ 障がいのある方とその介護の方 1 名は各当日料金の半額（65 歳以上をのぞく）

※ 各種割引の適用は、会期中、美術館窓口のみ。要証明。

本展のみどころ

- 最後の文人画家とよばれる巨匠、富岡鉄斎の画業を、清荒神清澄寺・鉄斎美術館（兵庫県宝塚市）所蔵の名品を中心に、約200点の作品、資料で紹介します。
- 鉄斎の生誕180年を記念して開催。生誕150年記念展（1985年・京都市美術館）以来、30年ぶりの大規模展観！近年の富岡鉄斎展の中でも最大規模の回顧展です。
- 清荒神清澄寺が各地の美術館、博物館へ寄贈した鉄斎の名作が大集結。屏風絵は前後期併せて計12点。壮大なスケールの鉄斎画が一堂に会します。
- 重要文化財《阿倍仲麻呂明州望月図・円通大師吳門隱栖図》（辰馬考古資料館）が特別出品されます。（展示期間：2016年4月26日～5月8日）
- 近代の画家たちは鉄斎をどう見たか？梅原龍三郎や中川一政など、鉄斎画に影響を受けた後世の洋画家たちの作品と言葉を通して鉄斎画の魅力に迫ります。

- ① 清荒神清澄寺・鉄斎美術館
質・量ともに随一の富岡鉄斎コレクションを有する個人美術館。鉄斎作品の収集と研究を行った、第三十七世法主・坂本光浄の収集品を中心に、約2,000点を超える作品・資料を所蔵。同寺、鉄斎美術館発行の研究誌『鉄斎研究』は、賛文読解の基礎文献とされています。
- ② 清荒神清澄寺から美術館等への作品寄贈
光浄和上の遺志により、鉄斎芸術の顕彰のため、実に65点もの作品が国内外の美術館に寄贈されました。
- ③ 辰馬考古資料館
酒造業を営む辰馬家が考古・美術資料の保全を目的に設立した博物館。特に、その銅鐸と富岡鉄斎のコレクションで知られます。光浄和上が鉄斎作品の収集を始めたきっかけは、画家と親交があった北辰馬家初代悦叟の勧めによるものでした。



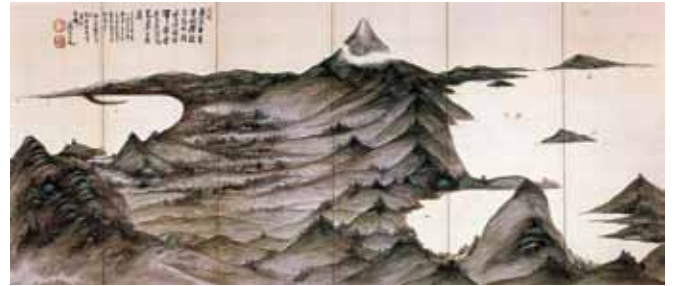
右 2-1.《富士山図》（右隻）1898年 紙本着色、六曲一双 清荒神清澄寺 鉄斎美術館蔵（前期展示）
左 2-2.《富士山図》（左隻）1898年 紙本着色、六曲一双 清荒神清澄寺 鉄斎美術館蔵（前期展示）



右 2-1.《富士山図》（右隻）1898年 紙本着色、六曲一双 清荒神清澄寺 鉄斎美術館蔵（前期展示）
左 2-2.《富士山図》（左隻）1898年 紙本着色、六曲一双 清荒神清澄寺 鉄斎美術館蔵（前期展示）



右 3-1.《富士遠望図・寒霞溪図》（右隻）1905年 紙本着色、六曲一双 京都国立近代美術館蔵（後期展示）
左 3-2.《富士遠望図・寒霞溪図》（左隻）1905年 紙本着色、六曲一双 京都国立近代美術館蔵（後期展示）



右 3-1.《富士遠望図・寒霞溪図》（右隻）1905年 紙本着色、六曲一双 京都国立近代美術館蔵（後期展示）
左 3-2.《富士遠望図・寒霞溪図》（左隻）1905年 紙本着色、六曲一双 京都国立近代美術館蔵（後期展示）

展覧会構成

第1章 万里の路—山水画の世界

全国を行脚し、实景を前にしての体験や感興をもとに描かれた真景図、各地で目にした風俗など、鉄斎独自の空間構成で描かれた雄大な山水画を中心に展示。富士山を描いた一連の作品も紹介します。

第2章 万巻の書—人物画の世界

中国・日本の故事、古典から取材した人物画、文人の理想郷を描いた山水画や神仙画などを中心に展示。奔放な筆致で表現された迫力ある人物像や、ユーモラスな表情の人物、群像表現など、鉄斎の多様多彩な絵画表現に迫ります。

第3章 以て画祖となる—晩年の傑作

鉄斎の傑作と言われるものは主に70代～80代にかけて生み出されています。晩年に至るとともに筆力は逞しさを増し、八十歳を超えて画境は一段と新鮮な感覚を加え、八十五歳を過ぎてさらに進境を見せたとも言われた鉄斎の70歳代から80歳代の名作を展示します。

第4章 文人・鉄斎の楽しみ

本章では、鉄斎が当時の名工たちによる工芸品に絵付けをした器や道具、自ら制作した陶器類をはじめ、所用印、筆録、書簡、そして愛玩の品々などを展示し、文人・鉄斎の多彩な活動を紹介します。

第5章 画家たちが見た鉄斎—鉄斎をめぐる言葉

大正期以降、鉄斎に関心を寄せた画家たち(下記)が様々な言葉を残しています。展覧会の最終章では、これらの画家たちの言葉と作品を紹介、鉄斎が近代の画家たちに及ぼした影響や、鉄斎がどのように受容されていたのかを考察し近代絵画史上での位置を再考します。

まさむねとくさぶろう 正宗得三郎 (1883-1962) / なかがわきげん 中川紀元 (1892-1972) /
なべいかつゆき 鍋井克之 (1888-1969) / うめはらりゅうざぶろう 梅原龍三郎 (1888-1986) /
なかがわかずまさ 中川一政 (1893-1991) / まえだかんじ 前田寛治 (1896-1930) など



4. 《孫真人山居図》1921年
紙本着色、一幅 清荒神清澄寺 鉄斎美術館蔵 (前期展示)



5. 《富而不驕図》1924年
紙本着色、一面 清荒神清澄寺 鉄斎美術館蔵 (前期展示)



6. 《猛虎図》1917年
紙本着色、一幅 清荒神清澄寺 鉄斎美術館蔵 (後期展示)



7. 《群仙集会図》1916年
絹本着色、一幅 清荒神清澄寺 鉄斎美術館蔵 (後期展示)

関連イベント

- 記念講演会 「鉄斎と山水」
4月17日(日)
午後2時～(約90分)
講師：松岡正剛氏(編集工学研究所所長、ISIS編集学校校長)
ミュージアムホール(定員250名)
聴講無料(要観覧券・整理券*)
※当日午前11時より当館ホワイエにて整理券を配布します。

- 特別レクチャー「鉄斎画を楽しむ」
3月26日(土)、4月9日(土)
各日午後2時～(約60分)
講師：鉄斎美術館学芸員
レクチャールーム(定員100名)
聴講無料(要観覧券)

- 学芸員による解説会
3月19日(土)、4月2日(土)、16日(土)、30日(土)、5月7日(土)
午後4時～(約45分)
レクチャールーム(定員100名)
聴講無料

- ミュージアム・ボランティアによる解説会
会期中の毎週日曜日 午前11時～(約15分)
レクチャールーム(定員100名)
聴講無料

- こどものイベント「水墨画に挑む」
4月30日(土) 講師：村田隆志氏(大阪国際大学准教授)
要事前申込・要参加費(詳しくは当館HPにて)
問合せ：こどものイベント係 tel. 078-262-0908

お問い合わせ先

兵庫県立美術館

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1

TEL: 078-262-0901(代表) FAX: 078-262-0903

取材・写真提供に関すること

営業・広報グループ

TEL: 078-262-0905(グループ直通) FAX: 078-262-0903

展示内容に関すること

担当学芸員：飯尾由貴子

e-mail: iio@artm.pref.hyogo.jp

TEL: 078-262-0909(学芸直通) FAX: 078-262-0913

広報用画像について

このプレスリリースに掲載されている画像データをプレス掲載用にご用意しております。別紙の申込書をご使用ください。

同時開催の展覧会

県美プレミアムI

2016年3月19日(土)～6月19日(日)

兵庫県立美術館1、2階常設展示室

※本展と同時に観覧の場合は割引あり。

横尾忠則現代美術館での同時開催*

横尾忠則 幻花幻想画譚

2015年12月12日(土)～2016年3月27日(日)

POP & WAR by YOKOO(仮称)

2016年4月16日(土)～7月18日(月・祝)

※特別展又は県美プレミアムのチケット(半券可)のご提示で、団体割引料金でご覧いただけます。

(詳細はホームページなどでご覧ください)

交通案内

阪神岩屋駅(兵庫県立美術館前)から南に徒歩約8分

JR神戸線灘駅から南に徒歩約10分

阪急神戸線王子公園駅から南西に徒歩約20分

神戸市バス・阪神バス「県立美術館前」下車すぐ

地下駐車場：乗用車80台収容・有料

*ご来館はなるべく電車・バスをご利用ください

*団体バスでお越しの場合は、バス待機所の予約をお願いします



兵庫県立美術館

生誕 180 年記念 「富岡鉄斎—近代への架け橋—展」

2016 年 3 月 12 日 (土) - 5 月 8 日 (日)

(前期 : 3/12~4/10、後期 : 4/12~5/8)

広報画像申込書

営業・広報グループ 宛 FAX (078) 262-0903

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1-1-1 電話 (078) 262-0905 (直通)

ご希望の画像の番号に○をつけてください。後日データ (.jpg) をお送りいたします。

番号	作品名・制作年・所蔵 等
1	画室の富岡鉄斎 70 歳頃 (写真)
2-1	《 ^{ふじさんず} 富士山図》(右隻) 1898 年 紙本着色、六曲一双 清荒神清澄寺 鉄斎美術館蔵 (前期展示)
2-2	《 ^{ふじさんず} 富士山図》(左隻) 1898 年 紙本着色、六曲一双 清荒神清澄寺 鉄斎美術館蔵 (前期展示)
3-1	《 ^{ふじえんぼうず} 富士遠望図・ ^{かんかけいず} 寒霞溪図》(右隻) 1905 年 紙本着色、六曲一双 京都国立近代美術館蔵 (後期展示)
3-2	《 ^{ふじえんぼうず} 富士遠望図・ ^{かんかけいず} 寒霞溪図》(左隻) 1905 年 紙本着色、六曲一双 京都国立近代美術館蔵 (後期展示)
4	《 ^{そんしんじんさんきよず} 孫真人山居図》1921 年 紙本着色、一幅 清荒神清澄寺 鉄斎美術館蔵 (前期展示)
5	《 ^{とみておごらず} 富而不驕図》1924 年 紙本着色、一面 清荒神清澄寺 鉄斎美術館蔵 (前期展示)
6	《 ^{もうこず} 猛虎図》1917 年 紙本着色、一幅 清荒神清澄寺 鉄斎美術館蔵 (後期展示)
7	《 ^{ぐんせんしゅうかいず} 群仙集会図》1916 年 絹本着色、一幅 清荒神清澄寺 鉄斎美術館蔵 (後期展示)

※上記画像を媒体掲載される際には、記載の**作品名・制作年・所蔵等**を必ず入れてください。

※作品画像は**全図で使用**してください。トリミングや文字を重ねるなど画像の加工・改変はできません。

※画像データ使用は、本展覧会の紹介用のみとさせていただきます。それ以外での使用はできません。(会期終了まで)

※再放送、転載など二次使用をされる場合には、別途申請いただきますようお願いいたします。

※Web サイトに掲載する場合は必ずコピーガードを施してください。

※基本情報、図版使用の確認のため、ゲラ刷り・原稿の段階で営業・広報グループまでお送り願います。

貴社名			
媒体名	新聞・雑誌・ミニコミ 『 』 TV・ラジオ・インターネット		
ご担当者名			
ご住所	〒		
電話番号		F A X	
メールアドレス	@		
URL			
掲載・放送予定日		画像到着希望日	
読者・視聴者プレゼント用招待券 (最大 5 組 10 名まで 本展を媒体でご紹介いただける場合に限り)	組		名分希望

※本展に関する記事をご掲載いただきました際には、お手数ですが、掲載誌・紙または記録媒体 (VTR/DVD)、URL などを、上記営業・広報宛にお送り願います。

※展覧会場の取材、撮影をご希望の場合は、上記までご連絡ください。事前にご連絡のない取材・撮影はお断りいたします。